

ホームページ <http://www2.ttcn.ne.jp/ref-pj/>

内容

* ヴィレッジ ISA(インテグレートド・サービス・エージェンシー)とヴィレッジセミナーを考える 事務局

* 事務局からのお知らせ

- (1) 2016年度 ヴィレッジセミナー募集のお知らせ
- (2) 2016年度 会費納入のお願い
- (3) 2015年第10回イタリア地域精神保健視察 収録DVD 頒布開始のお知らせ

* ヴィレッジ ISA(インテグレートド・サービス・エージェンシー)とヴィレッジセミナーを考える 事務局

1. ヴィレッジ ISA とは

ヴィレッジ ISA の現在の正式名称は、MHA ヴィレッジ(Mental Health America of Los Angeles, Village)です。そしてMHA ヴィレッジは、アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルスで精神保健における成人向けの統合されたリカバリーサービスプログラムの実施団体で、1990年にロサンゼルス郡ロングビーチ市にリカバリー運動のパイオニアとして設立され、精神疾患からの回復を目指しているリカバリー途上の全ての人々を支援しています。

ヴィレッジのあるロングビーチ市は、人口1600万のロサンゼルス圏(グレートロサンゼルス)の一角をなす人口約50万の中核都市でロサンゼルス市中心部から南に約30kmに位置しています。そしてヴィレッジはロングビーチ市中心部の東側の地区エルム通り5番街の角にあります。ヴィレッジの建物は4階建ての茶色いレンガ作りで、1922年に建てられたAT&Tというアメリカの大手電話会社のビルでしたが、空家の時期を経て1990年プログラムのスタートに合わせてヴィレッジが買い取りました。



2. ヴィレッジセミナーの発端

ヴィレッジセミナーは、故谷中輝雄前理事長とヴィレッジの設立者リチャード・ヴァンホーン氏が1995年に出会ったことに端を発しますが、この辺りのことを谷中氏は下記のように振り返っています。

『そもそも、このヴィレッジセミナーを企画したのは、精神保健福祉活動に従事する方々のバーンアウト(燃え尽き)防止として取り組んだものであった。初めて、20数名の方々をお連れして、無事終了して、成田空港に着いた時の安堵感は今でも覚えている。そして、旅行社の添乗員の言葉が今も耳に残っている。「何事もなくて、良かったですね。」そして続けて、「不思議な団体ですね。普通はセミナーが終了したら、疲れてぐったりしているのに、皆さん明るく輝きを増している。」と感想を述べてくれた。

あとから知ることになったのだが、参加者はヴィレッジの活動に触れて、力をもらい、全国からの仲間と出会い、更にエネルギーを感じ、アメリカの大自然からもエンパワメントされたというのだ。

多くの課題を持って出かけた人はそれなりのお土産をもらい、手ぶらで参加した人も、新しい力、勇気、元気を携えて帰ってきた。

そもそもリチャード・ヴァンホーンさんと私の出会いから1995年にスタートしたヴィレッジセミナーが、今年19回目を迎える。そしてこのセミナーをやどかりの里から引き継ぐ形で設立した精神保健福祉交流促進協会開催となった2002年の第9回目から数えると、

10年目を迎え10回を超える事になる。「継続は力」と言うが、セミナーで蓄積したヴィレッジの活動と理念をリカバリーの実践報告として資料化する事も使命ではないかと考える。

(2011年11月「メンタルヘルスとウェルフェア別冊:リカバリーの実践 発刊に際して」より抜粋)

そして、2016年4月に第22回ヴィレッジセミナーが企画されており、第1回からは既に20年経過しております。しかし前出のように「リカバリープログラムのパイオニア」としてのヴィレッジの活動は新しい風を巻き込みながら脈々と息づいており、谷中氏が「ケアマネジメントを学びに行きましょう」と多くの方々をお誘いした意味合いは、今も色あせていません。

では、以下に2016年度のセミナープログラムを解説していききたいと思います。

3. セミナープログラムの内容(予定時間)

(1) ヴィレッジの歴史(45min)

カリフォルニア州で精神障害者に対する支援活動を実施するに当たり、プログラムを公募しヴィレッジのプログラムが認められ州の公式プログラムになっていく歴史や、それにまつわる環境の変化などを研修責任者である Joe 先生から学びます。

(2) プログラムの構成(45min)

セミナープログラムで個々の活動は説明されるわけですが、相互の関係や人員配置など個々の説明では理解しにくい全般的なことや概念的な話を伺います。講師は同じく Joe 先生です。

(3) ヴィレッジの建物ツアー(60min)

建物内部を見学しながら、各部署の配置や役割などの説明を受けます。

(4) メンバーの話(60min)

ヴィレッジを現在使用しているメンバーさん(ヴィレッジでの通常の呼び方)数名から、色々お話を伺います。話の内容はメンバーさん個々に任されておりますので当日までわかりませんが、昔の辛かったことやヴィレッジスタッフの支援の様子、現在の環境や勤務経験、親兄弟との関係など、多くの苦悩や喜びが語られることと思います。

(5) 就労支援(60min)

ヴィレッジで今一番力を入れている就労についての話です。ヴィレッジの就労支援チームがどのようにして職場開拓をするのか、メンバーを就労まで結びつけるためにどんな動きをしているのか。そして、その就労を継続させるためのサポートのあり方等、成功例や失敗例など実例から活動の実態に触れることが出来ます。担当講師は Bob 先生の予定で、5年以上担当しております。また日本とは違うアメリカの法律によって守られている権利などの話題にも触れられることと思います。

(6) リカバリーの哲学(75min)

「リカバリーへの道」マーク・レーガン著／前田ケイ監訳:金剛出版で知られているマーク・レーガン先生に講師をお願いしております。書籍案内にも書かれている状況や実践を、精神科医であることとヴィレッジの一職員であるという立場を踏まえてお話いただけたと思います。

※以下に書籍案内の全文を転記します。(金剛出版ホームページより)

『統合失調症などの重い精神の病を持っていても、人は立ち直ることができます。人として尊重され、希望を取り戻し、社会に生活し、自分の目標に向かって挑戦しながら、かけがえのない人生を歩むこと、それが「リカバリー」です。

本書で紹介されている「ヴィレッジ」は、精神保健福祉サービスの統合的ケアモデルのパイオニアであり、リカバリー・コミュニティとして活躍しているカリフォルニア州の団体です。ヴィレッジでは「メンバー」と呼ばれる利用者が、職員と一緒に自分用のリハビリテ-

ジョン・プログラムを作成しつつ、それぞれのリカバリーを体験しています。ヴィレッジの設立スタッフであるレーガン博士は、本書において、多くのメンバーの物語を織り交ぜながら、個人がどのような過程でリカバリーを経験していくか、専門家がその過程にどう参与していくかについて、具体的な実践原則を述べています。

リカバリーは、精神の病を持つ人たち、その家族、支援にあたる専門家にエネルギーを与える革新的ビジョンであり、これからの精神保健福祉サービスの中核となる考え方です。本書を読むことで、リカバリーが決して理想や理念の世界でなく、精神の病を持つ人たちの真の回復に役立つ実践の核心であることが理解できるでしょう。

「私のこの本が、日本でのリカバリーの種蒔きをもっと広げるために役立ちますように」(マーク・レーガン)』

(7) ヴィレッジ定例ミーティング参加 (60min)

ヴィレッジで毎週水曜日朝実施しているミーティングにゲスト参加します。ミーティング参加はヴィレッジを使用しているメンバーが中心ですが、使用していない方も可能です。そして参加者は食堂の朝食を食べることが出来ます。内容は自由で、誹謗中傷する内容でなければ全て OK です。ヴィレッジの催し等の発表もあります。

(8) PSC とライフコーチの役割 (75min)

アメリカにおけるケアマネジメントの歴史やヴィレッジの推奨するケアマネジメントを踏まえて、ヴィレッジの活動を担っている PSC (パーソナル・サービス・コーディネーター) の役割とは何か、メンバーが精神障害によって失ってしまったさまざまな事柄を取り戻すためにヴィレッジではどのような支援活動をしているのかについてお話いただけます。またライフコーチの採用や活動の実態についても触れると思います。講師は Gary 先生の予定です。

(9) 地域社会統合 (75min)

地域社会統合は回復のためのプログラムとして取り組んでいる。全てのメンバーは、どのような違いがあっても、それぞれが属する地域社会に帰属するという考え方を実践し、メンバーが達成したい目標を実現するために、地域社会(大学などの教育機関や地域社会、ボランティア団体等)のプログラムを積極的に活用している。そのような活動を通してメンバーに変化が現れる様子やスタッフ自身がエンパワメントされていく様子等を話していただきます。メンバーが持っている強みの部分をどの様に育てていくことが出来るのか。そしてその強みを開花させることによって、メンバー自身にどのような変化が現れるのか等の話が聞けると思います。また、成功したメンバーを祝うヴィレッジ独特のシステムも紹介されることでしょう。

(10) 成果と結果 (75min)

精神保健分野へより多くの補助を得るために、ヴィレッジでは行政にどのようなアプローチの仕方をしてきたのか。そのためにどのような資料を作成し、成果を表わす指標としたのか。データの調査方法や蓄積の大切さ、データが示す成果の判定方法などを通して、日本の精神保健分野において不得意とする成果と結果の取り扱いに関する技法が学べるのではないかと思います。講師は現在 MHA のトップである Dave 先生です。説明に当たっては、最新の実績データを基に説明されますので、ヴィレッジやカリフォルニア州の状況をデータから確認することができます。

(11) 倫理 (75min)

スタッフとメンバーの間に介在する各種の倫理問題を具体的に提起して、ディスカッションし、現実的な解決方法やルール化の手法について学びます。日本においても常に問題となり、考えなければならない倫理観に関して、ヴィレッジのルールや対応方法(ガイドライン)を理解することによって、より正しい解決方法の助けとなるでしょう。講師は Dave 先生です。

(12) ウェルネスセンター訪問 (120min)

ウェルネスセンターは当事者が運営する組織で、1名の医療専門職を雇っておりMHAに属しています。自らサークル活動を運営したり、地域の各種資源のコーディネーションもしております。ウェルネスセンターを実際に訪

問しますので、サークル活動の状況等を見ることが出来ます。

(13) P.R.P.S.N 解説 (60min)

P.R.P.S.N(プロジェクト・リターン・ピア・サポート・ネットワーク)は完全な自助活動組織で、以前は MHA に属していましたが、現在は一般法人として活動しております。今回は組織の責任者から歴史や活動についてお話しただく予定です。

※書籍案内

リカバリーの実践 (「メンタルヘルスとウェルフェア」別冊) 特別頒布のお知らせ



メンタルヘルスとウェルフェア別冊

リカバリーの実践 - ヴィレッジ ISA の活動 -

A5版 154 ページ 仁木美知子著 発行 2011 年 12 月 1 日

定価 ~~2,000 円~~ + 税

ヴィレッジセミナー再開記念特別価格 ¥1,000 (送料・税込)

※購入お申込みは、同封申込書または協会事務局までご連絡ください。

* 事務局からのお知らせ

(1) 2016 年度 ヴィレッジセミナーの募集のお知らせ

日程 2016 年 4 月 25 日(月)~5 月 1 日(日) 研修先 ヴィレッジ ISA
募集定員 12 名 締切り 3 月 18 日(金) 定員になり次第締め切りとなります。
参加費 ¥333,000(研修費・通訳費・航空券・宿泊費含む、燃油・空港諸税別途)
※宿泊はツインルーム使用(シングル希望は+4 万円)

(2) 2016 年度 会費納入のお願い

本年度も是非会員としてご協力よろしく申し上げます。会費は同封の郵便振替書にてご納入ください。(既にご納入いただいている場合は同封しておりません)

(3) 2015 年第 10 回イタリア地域精神保健視察 収録 DVD 頒布開始のお知らせ

イタリア精神病院解体後、各地で精神保健センター中心の活動が行われてきましたが、徐々に地方の特色が現れてきております。今回は特に各地の保健センターの第一線で活躍されている先生にお話を聞くことが出来ました。是非この機会にご購入いただきたくご案内申し上げます。

頒布価格 DVD11 枚組 一組 ¥30,000 詳細は添付資料参照願います。



—編集後記—

ヴィレッジ特集になりました。協会の原点となったところです。私自身もこのセミナーから様々なことがスタートしました。理念や倫理と、きちんとした研修の枠組みの中で学び、考えることができることがとても大切なポイントだと思います。理念を基盤に、様々なプログラムが、ご本人の立場からみて、ケアマネージメントの手法を用い、統合され提供される。できそうで、実はとても難しい...。改めて振り返っています。(Nagano)

〒115-0045 北区赤羽2-45-8ファーストビス赤羽205 TEL/FAX03-5939-9603